

二高養 進路だより

★後期現場実習★

★1学年：青森市内での現場実習9／9～9／20の2週間

目的（１）現場で働く体験を通して、働くことのきびしさや、働くために必要な基本的事項を知る。

（２）自分のよさや課題について理解し、進路の実現に向け意欲や心構えをもつ。



★2学年：出身地での現場実習9／9～9／20の2週間

目的（１）実際に現場で働く体験を通して、働くことの意義と職場への理解を深め、職業生活の基本的な事柄を身に付ける。

（２）家庭から通勤し、働くための条件、課題等を知り、卒業後の進路を考える。



★3学年：出身地での現場実習9／2～9／20の3週間

目的（１）将来の職業生活を見通した職種での実習を通して、社会人としての心構えと日常生活に必要な能力や態度を身に付ける。

（２）卒業後の生活設計を描きながら、自己の適性等諸条件を考えて進路を選択する。



★各学年とも前期実習の自分の課題を踏まえ、個人目標を立てることができました。また、事後学習では実習の振り返りをして、自己評価をすることができました。今回の実習で学んだことを、1，2年生は今後の学校生活と次年度の現場実習に向けて、また3年生は実社会で生かしてほしいと思います。

現場実習での実習先からの評価点（４段階評価）

現場実習での実習先からの評価を学年ごとに平均しました。前期よりも後期の評価が高くなっていること、１年生から３年生へと学年が上がるにつれて評価が高くなっていることから、普段の学習の成果が表れていると思います。

	項 目	第1学年	第2学年		第3学年	
		後期	前期	後期	前期	後期
態 度	挨拶・返事	3.3	3.4	3.5	3.5	3.6
	指導や注意されたとき	3.7	3.9	3.9	3.7	3.8
	出 勤	3.9	3.9	3.9	3.8	4.0
	職場での人間関係	3.2	3.4	3.4	3.3	3.4
	工作中的態度	3.4	3.6	3.8	3.6	3.7
	服 装	3.6	3.7	3.9	3.9	3.6
	言葉遣い	3.6	3.6	3.7	3.6	3.6
理 解	仕事の理解	3.6	3.6	3.3	3.5	3.5
技 能	道具や物品の扱い方	3.4	3.4	3.3	3.3	3.4
	仕事の準備や後始末	3.2	3.2	3.3	3.4	3.4
	工作中的安全性	3.2	3.2	3.2	3.3	3.3
	仕事の持続性	3.0	3.2	3.5	3.4	3.4
	仕事の能率度	2.7	2.8	2.7	2.9	3.1
	製品(仕事)の出来具合	3.2	3.3	3.4	3.2	3.3

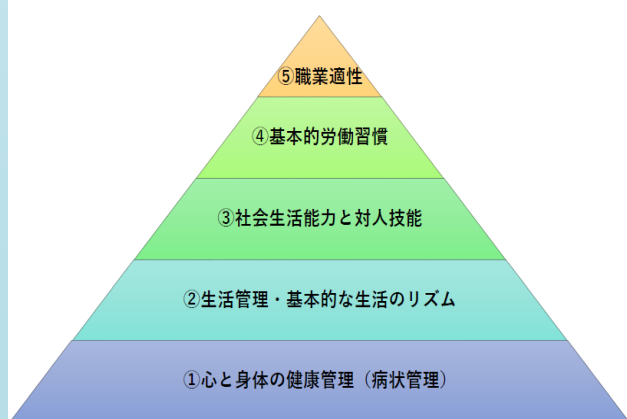
態度面について…おおむね高い評価をいただきました。課題としては、「職場での人間関係」です。今後学校生活の中で「社会生活能力・対人技能」を身に付けてほしいです。

技能面について…「能率度」は仕事のコツをつかむまでは難しい面もあり、就労してから身に付ける面も多いと思います。「持続性」や「出来具合」については、ふだんの学習活動の中から、集中力や丁寧さに気を付けて取り組んでいく必要があります。

第１学年 進路講話会を開催しました

９月２８日の保護者懇談会の際に、「卒業生の就労状況から、学校時代に身に付けてほしい力と家庭協力について」と題し、「障がい者就業・生活支援センターしもきた」管理者 小又義則 氏を講師に迎えて進路講話会を行いました。小又氏からは、就業・生活支援センターの役割や、就労に必要な５つの力（①健康管理 ②生活管理、生活リズム ③社会生活能力と対人技能 ④基本的労働習慣 ⑤職業適性）についてお話ししていただきました。また、最後には本校の卒業生３人の働いている様子や、後輩たちに向けたメッセージの動画を見せていただきました。先輩のがんばっている様子を見ることができ、とても有意義な内容でした。

就職を継続する為に必要なことは…



【保護者の方からの感想（抜粋）】

- ・卒業生の生の声が聞くことができ参考になりました。２年後、無事に就労できるよう、本人も含め、家族協力していきたいです。
- ・卒業生の子供たちの姿を見ることができて楽しみになりました。卒業後もいろいろサポートしてくれることを知り安心しました。
- ・卒業生の様子が分かり、興味深かったです。また、今のうちにやらなければいけないことが分かり、がんばろうと思いました。